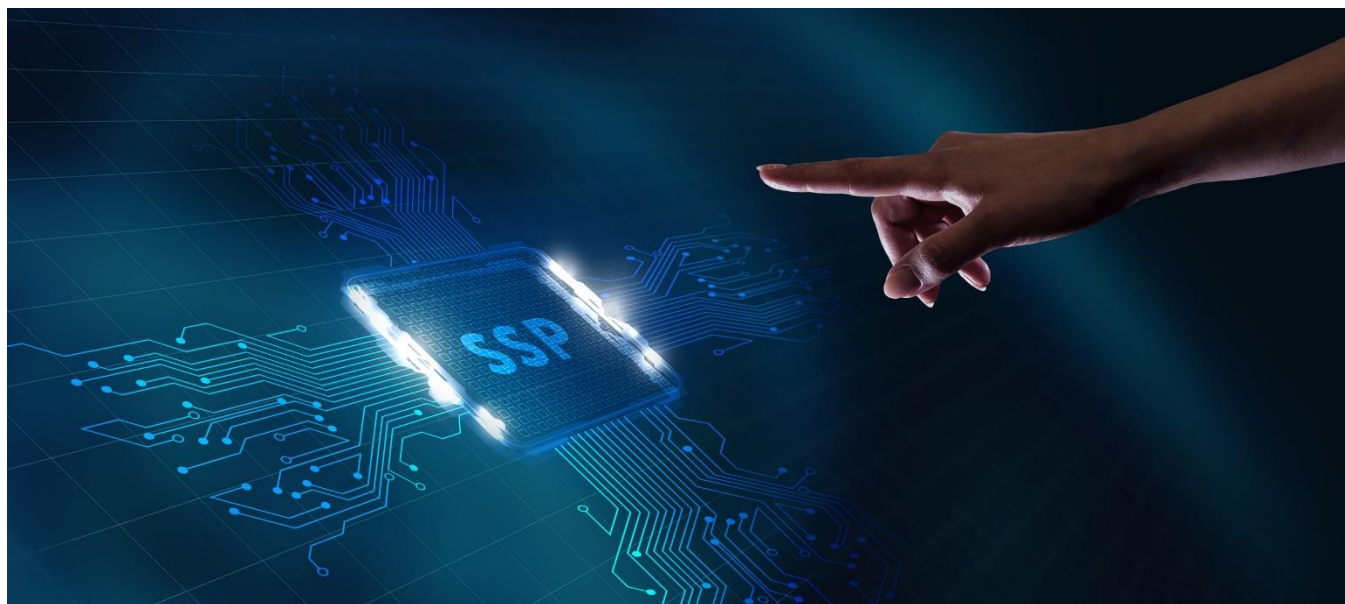


交通事業者へ初提供！JR 西日本コミュニケーションズが LIVE BOARD SSP (Supply-Side Platform) の利用を開始



株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：野中 雅志 以下、JR 西日本コミュニケーションズ）と株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：櫻井 順 以下、LIVE BOARD）は、大阪駅の2箇所のデジタルサイネージ（大阪駅 NGB1 階東西通路デジタルサイネージ 30面セット、J・AD ビジョン WEST 大阪駅御堂筋口セット）の計72面を「LIVE BOARD Network」に接続し、デジタル OOH^{※1}（以下、DOOH）の広告配信に向けた実証実験を2020年6月より実施しております。この度、当該実証実験の一環として、2022年6月より、JR 西日本コミュニケーションズが交通事業者としては初めて、LIVE BOARD が保有する OOH^{※2} 領域のインプレッション（広告視認者数）販売が可能となる LIVE BOARD SSP (Supply-Side Platform) ^{※3} の利用を開始します。これにより、大阪駅の2箇所のデジタルサイネージにおいてオーディエンスデータに基づくフレキシブルな配信や、インプレッション（広告視認者数）販売の実現に向け検討を深度化します。加えて、LIVE BOARD DSP (Demand-Side Platform) ^{※4} やデジタル広告向け DSP と連携することによる販売チャネルの拡大も視野に入れ、検討を進めてまいります。

※1 Digital Out of Home の略。交通広告、屋外広告、商業施設などに設置されたデジタルサイネージを活用した広告媒体

※2 Out of Home の略。交通広告や屋外広告、商業施設での広告など、家庭以外の場所で接触する広告媒体の総称

※3 Supply-Side Platform の略。メディア(広告枠を提供している側)のプラットフォーム

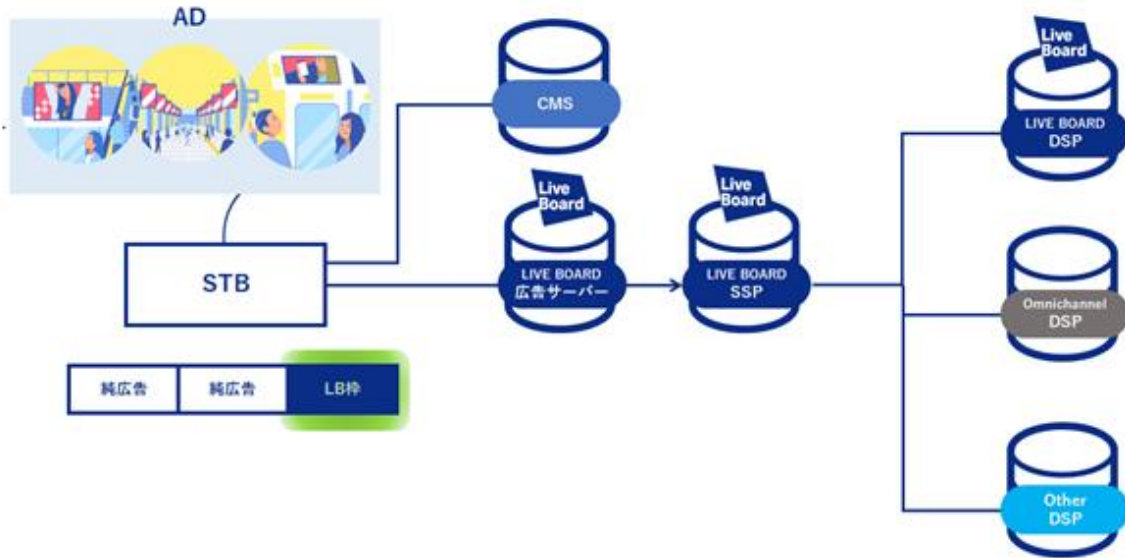
※4 Demand-Side Platform の略。広告主(広告配信を希望している側)のプラットフォーム

JR 西日本コミュニケーションズと LIVE BOARD は、この度の実証実験により DOOH 市場の拡大に向けた新たな価値創造に取り組むとともに、多様なライフスタイルに適応した広告配信の実現をさらに推進してまいります。

◆LIVE BOARD SSP とは？

LIVE BOARD SSP は、媒体社（メディアオーナー）の広告枠販売や広告収益の拡大を支援するサービスツールです。

-LIVE BOARD SSP と連携した販売仕組みイメージ



・各社の役割

株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ

- ・コンテンツマネジメントシステム（CMS）の運用・管理
- ・広告面の運用・管理
- ・カメラによるカウントデータの生成
- ・広告配信プラットフォームの運用・管理

株式会社 LIVE BOARD

- ・広告配信プラットフォームの提供

◆LIVE BOARD SSP 導入のメリット

インプレッション販売、ターゲティング販売など、LIVE BOARD DSP やデジタル広告向け DSP と連携し、販売チャネルの拡大が可能になります。

Live Board SSPを導入するメリット



保有媒体のインプレッション販売が可能に

該当するスクリーンの近くにいた、通ったというスクリーントラフィックカウントの指標から、該当するスクリーンを視たというインプレッション（視認者：スクリーンオーディエンスカウント）をベースとした広告配信が可能となります。



保有媒体のターゲティング配信が可能に

ドコモの位置データ、属性データ等を活用し、性別・年齢などのターゲットの視認割合が高い時間帯・媒体を選んで配信することが可能になります。ターゲットや期間を絞って配信ができるので、無駄な出稿を抑えることができます。



LIVE BOARD DSP やデジタル広告向けDSP と連携し、販売チャネルの拡大に

期間と出稿量を保証する「LIVE BOARD Network（予約型配信）」、DSP経由で配信をコントロールする「プログラマティック配信」を活用し、販売チャネルの拡大が見込めます。

関連プレスリリース参照

- ・2022年6月2日配信 [デジタル OOH バイイングに特化した LIVE BOARD DSP \(Demand-Side Platform\) をローンチ](#)
- ・2022年3月15日配信 [あらゆる OOH 広告のインプレッションを計測する技術を開発 ～OOH 広告の New Standard\(定量的な指標\)～](#)
- ・2020年6月10日配信 [JR 西日本コミュニケーションズの大阪駅のデジタルサイネージ 計 72 面で、LIVE BOARD Network でのデジタル OOH 広告配信に向けたインプレッション計測の実証実験を開始](#)

◆LIVE BOARD 全国のスクリーン

現在、LIVE BOARD のスクリーンは、全国に 16,000 以上、2,000 万 MAU まで伸長しており、自社で設置したスクリーンだけでなく、他社との連携も日々拡大中です。

URL : <https://liveboard.co.jp/screen>

◆株式会社 JR 西日本コミュニケーションズとは？



JR 西日本グループの総合広告会社として、**アイデアを武器に期待を超えるコミュニケーションを提案します。**

ブランディングから販売促進まで様々なクライアントの課題解決に取り組む「広告会社」、JR 西日本グループの宣伝・広報を担う「ハウスエージェンシー」、そして JR 西日本グループの交通メディアの開発・運用を行う「交通媒体社」としての 3 つの機能を掛け合わせ、

データやノウハウに基づく的確なソリューションを展開しています。

会社名	株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ
代表者	代表取締役社長 野中 雅志
所在地	大阪市北区堂島 1 丁目 6 番 20 号 堂島アバンザ 8F
資本金	2 億円
営業開始日・創立日	1979 年 4 月
事業内容	■ JR 西日本の交通広告の開発・販売・管理等 ■ 交通広告・マスメディア広告・インターネット広告等の企画・提案 ■ マーケティング・リサーチ ■ メディアプランニング ■ セールスプロモーション
ホームページ	https://www.jcomm.co.jp

◆株式会社 LIVE BOARD とは？



データドリブンにターゲティングや効果検証を実現する

デジタル OOH アドネットワークオペレーター

OOH 領域において国内で初めてインプレッション（広告視認者数）に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、"そのとき、その場所で、その広告を"見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展

開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった"ヒト"基点による配信を可能にしました。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 櫻井 順
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30Daiwa 青山ビル7階
資本金	25 億円
営業開始日・創立日	2019 年 2 月 1 日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<JR 西日本コミュニケーションズに関するお問合せ先>
株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ 担当：山本（崇）・岡山
TEL: 06-6344-5139
受付時間：10：00～12:00, 13:00～17：00(土・日・祝日・年末年始を除く)
MAIL：info@jcomm.co.jp

<LIVE BOARD に関するお問合せ先>
LIVE BOARD 広報事務局 担当：朝倉、安部
TEL：090-5393-0219 / 03-5843-0932 E-mail：info_press@liveboard.co.jp